

#私を知ろう プロジェクト名古屋

Powered by 豊田通商

know my self, live my life

「女性が輝くまち」を目指す名古屋市後援のもと、名古屋市に拠点のある企業や働く女性に向けて「女性のヘルスケア」に関する学びの機会を W society と豊田通商株式会社からお届けします。

女性一人ひとりの“Well-Living（よりよく生きる）”な環境を創出するきっかけを生み出し、各企業及び名古屋市のダイバーシティや女性活躍推進を後押しします。



参加
無料

「#私を知ろう プロジェクト名古屋」 ライフデザインセミナー、オンライン開催決定！

2022.10.27 [THU.] 12:00-13:00

オープニング
ゲスト



名古屋市副市長
杉野 みどり



またたARTクリニック院長・産婦人科医師
丸田 英



W society 主宰
谷村 江美

カラダを知ることから始める、キャリアデザイン～年齢ごとの体質変化との上手な付き合い方～

女性ならではのライフステージごとのカラダの悩みや不調とうまく付き合いながらキャリアを設計していくためには、まず自分のカラダをよく「知る」ことが大切です。「将来については漠然として子どもが欲しいかどうか分からない」「いつかは子どもも欲しいけど…仕事も忙しいし、今すぐじゃない気がする」「最近なんだかカラダの不調を感じるが多くなってきた。キャリアアップを目指したいけど、そろそろ自分のカラダと向き合わなきゃ…」など、働く女性の悩みはそれぞれ。

女性にとってのこれからのキャリア・ライフプランを考える助けとなり、今すぐ始められる手段の一つとしての『AMH検査（抗ミュラー管ホルモン検査：卵巣の予備能<卵巣の中に残っている卵胞の数の目安>を反映する血液検査）』や、各種検査への理解も深めています。

開催日時： 2022年10月27日（木）12時～13時

オープニングコメント： 杉野 みどり（名古屋市副市長）

登壇者： 丸田 英（またたARTクリニック院長 産婦人科医師）／谷村 江美（W society 主宰）

参加方法： ZOOMウェビナー形式

参加費用： 無料

申込方法： 右記QRコードより、必要情報を記入の上、お申し込みください。

セミナー参加
お申し込みはこちら



女性の月経随伴症状による
経済損失は年間4,911億円

女性活躍推進を掲げる中で、女性特有の疾患やヘルスケアと向き合うことは、経済効果の観点でも企業にとって重要な課題。経済産業省によると、月経随伴症状による労働損失は年間4,911億円になるという試算が出ています。

さらに、通院費や治療のための医薬品費用を含めた社会経済的負担の総額は6,828億円にも上ります。女性の健康課題と向き合い、女性が働きやすい社会環境を整備することで、企業の生産性向上や業績向上に結びつくことが期待されます。

ジェンダーギャップ指数、
日本は146カ国中116位！

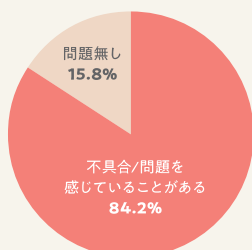
G7では最下位。先進国の中でも最低レベル。
[経済]121位 [保健]63位

男女格差の大きさを国別比較した『ジェンダーギャップ指数(世界経済フォーラム2022年発表)』において日本は146カ国中116位。G7では最下位、先進国の中では最低レベル。女性活躍推進を掲げているものの、女性のライフプランにフォーカスした具体的かつ効果的な施策に悩む企業や団体が多く存在します。

アンケート『女性を取り巻く心身的/社会的課題に関する実態調査(18歳から44歳までの女性1,500名を対象)』を実施。多くの女性が“不調と不安”を抱えているにも関わらず、自分自身のカラダを「知る」手段や機会が不足していることが明らかになりました。

不調を感じている女性は全体の約8割。

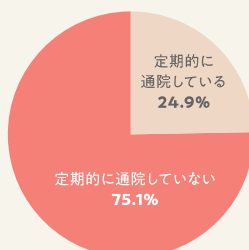
一方で、4人に1人は
「相談相手がいない」



あなたの普段の体調はいかがですか？
(単一回答、n=1,500)

産婦人科/婦人科へ
通院している女性は全体の9.5%

通院していない理由の大半は
「お金がかかる」「なんとなく」「面倒」「内診が嫌」



あなたは定期的に通院していますか？(風邪など突発症状を除く)
(単一回答、n=1,500)

「自身が妊娠できると思う年齢」の
平均値は37.4歳。

妊娠・出産時のリスクが
高まると言われる35歳を上回る

年代(括弧内はn数)	妊娠できると思う年齢
18~19歳(92名)	32.6歳
20~29歳(483名)	33.8歳
30~39歳(554名)	38.6歳
40~44歳(324名)	42.1歳
全年代(1,453名)	37.4歳

あなたご自身は何歳まで妊娠できると思いますか？
(数値入力、n=1,453)

自身のカラダを「知る」ことで今後のライフプランの選択肢を広げられるよう、
キャリアやライフプランを考える世代に対して「知る」機会を幅広く提供する必要があります。

● **プレコンセプションケアとは？**「コンセプション」は受胎・妊娠のこと。つまり「プレコンセプションケア」とは「妊娠前からのケア」を意味します。若い世代(女性とパートナー)が現在の身体の状態を知り、将来の妊娠や身体の変化に備えて健康に関する正しい知識や習慣を身につけることで、健康状態が改善され、安全で安心な妊娠・出産を可能とします。妊娠・出産の選択肢が増えることで、将来の人生設計も描きやすくなります。また、妊娠を考えていない方にとっても、プレコンセプションケアの項目に沿って体調管理することで、より良い人生を過ごすことが出来るとされ、WHO(世界保健機関)が推奨し、日本でもその考え方を進めています。

● **AMH 検査とは？**「AMH 検査(抗ミュラー管ホルモン検査)」とは、卵巣の中に卵子がどれくらい残っているかを調べるための血液検査です。AMH とは、抗ミュラー管ホルモンと呼ばれる女性ホルモン的一种で、卵巣の中にあるこれから育っていく卵胞から分泌されるホルモンを指します。女性の卵巣内には卵子のもとが保存されていて、排卵に向けていくつかの卵子のもとが育ち始めると、卵胞から AMH が放出されます。AMH の値を測れば、これから育つ卵胞がどのくらい残されているかが推測されます。自身のカラダの現状を知ること、ライフプランの設計に役立てられることが期待されています。



「W society(ダブルユー ソサイエティ)」は、女性の心身的課題(W=woman) × 社会的課題(society)の両面から女性ひとり一人の“Well-Living(よりよく生きることが出来る環境)”をデザインするプロジェクトとして2021年9月に始動。一般向けカンファレンスを開催するなど、継続的な情報発信を行っています。



WS@goodandco.jp



参画企業



特別協力



後援



Powered by

